

# 「日野町議会」 議会だより



住民のみならずまち議会をつなぐ広報誌

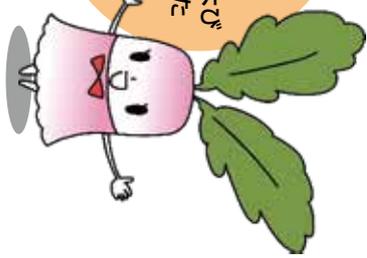
滋賀県日野町議会 令和5年6月定例会号 (令和5年8月15日発行)

## INDEX

小学校議場見学	P.2～3
委員会からの報告	P.4～6
12議員一般質問に立つ	P.7～19
議員のうごき	P.22

**6月議会**  
6月1日から26日に  
開催された定例会および  
5月15日に開催された  
臨時会の結果を  
お知らせします。

日野のPRキャラクター  
あのなひのな



# 町内小学6年生のみなさんが 議場見学に来てくれました



6月22日から6月30日にかけて南比都佐、日野、西大路小学校の6年生が日野町議会を見学に来てくれました。

議場では議員から議会の役割について説明を受けたり、「日野町の人口は何人でしょう?」「議員には何歳から立候補できると思いますか?」などの質問に元気に手を挙げて答えてくれました。また、議場や議長室などを見学して、疑問に感じたことを質問してくれた児童もいました。

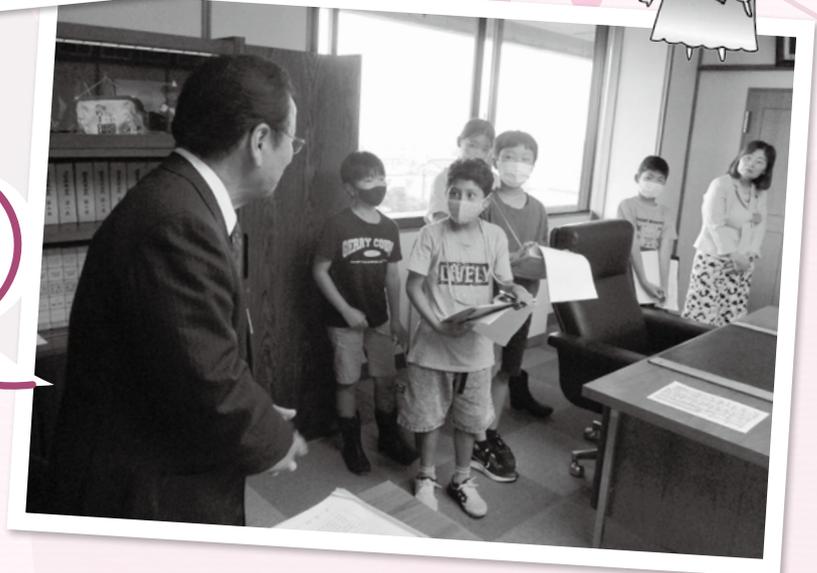
議員さんからの質問  
大人になっても  
日野町に  
住み続けたい人?



4階の議場、議員控室、  
正副議長室を  
探検しました!



議長さんに質問  
今までの議長の写真は  
男性だけですが、  
女性も議長に  
なれますか?





議員さんへの質問  
議会での話し合いは  
多数決で  
決めるのですか？

議員さんへの質問  
日野町の未来は  
明るいですか？



役場探検に！  
議員さんから  
役場の各課の  
仕事について  
教えてもらいました。



### 議場見学の感想

- 日野小学校の新しくなった給食室は約3億円かかったと知りびっくりしました。
- 政治にちっとも興味がありませんでしたが、ちょっと興味をもちました。
- 女性に議長になってほしいです。
- 僕は選挙に行きます！
- 日野町を良くするためにがんばってください。

※役場4階ホールに見学の様子や感想を掲示していますのでご覧ください。

# 予算特別委員会

## 付託議案

### ●議第67号 令和5年度日野町一般会計補正予算(第2号)

6月議会に提案された補正予算の総額は歳入歳出それぞれ2,438万6千円で、予算の総額は歳入歳出それぞれ97億5,046万9千円で0.25%の増加となりました。これは国・県の補助事業の交付決定等に伴うもので、早期の対応を要する事業であるための補正です。

《歳出の主な内容》

科目	経費の内容	予算額
社会福祉事務事業	給付金事業の精算に伴う国庫補助金の償還金	1,001万9千円
担い手育成対策事業	農業用機械導入に係る経費の一部助成の補助金	360万円
公園管理運営事業	大谷公園体育館改修工事の国庫補助金の増額補正	1,020万円

## 質疑と討論・採決

農業の担い手育成対策事業で小規模農家への対応などに力を入れてほしい旨の質問があり、中山間地域の現状に合った小規模農家にも光が当たる制度について内部で協議し、国や県へ要望していく必要があるとの答弁がありました。また、シルバー人材センターの空調エアコンの買い替えや大谷公園体育館の第2キュービクル更新などについて、複数の委員から質問が出ました。討論はなかったので質疑について採決を行ったところ、全員が原案どおり可決することに賛成しました。



# 総務常任委員会

## 付託議案

### ●議第64号 財産の取得について(日野町立図書館書架等家具)

取得の方法 指名競争入札 取得の金額 1,584万円

Q 入札について、特殊な家具だから1社とのことでしたが、最低でも3社は必要ではないか？

A 結果、1社となったということで理解いただきたい。

委員要望 できるだけ競争原理を働かせていただき、住民にわかりやすくしてほしい。コンペ方式など入札手法について、慎重な入札をお願いしたい。

### 関連質問 図書館の臨時休館(空調設備更新工事)に伴う住民サービスについて

Q 6月1日から7月23日までの休館は長い。近隣市町との広域連携で本の貸し出しができないものか？

A 広域連携は難しいが、意見を参考に住民サービスの向上につながるよう、まずは協議を進めたい。

委員要望 子どもに本に接する機会を充実させていただきたい。事前に町内小学校等に本を借りてもらい、学校を通して借りたりできたのではないかと。今後は教育委員会と連携して検討してもらいたい。

### ●議第65号 日野町税条例の一部を改正する条例の制定について

主な内容 森林環境税の導入に伴う改正 施行：令和6年1月1日

Q 森林環境税について、住民にわかりやすく周知してもらいたい。

A 周知については、広報ひのやホームページを通じて、分かりやすくお知らせしていく。

## 付託議案の採決

反対討論はなく一括採決 → 全委員一致で全議案を可決すべきものと決しました。



## 調査・研究

日野町の財政状況を学び、意見交換

# 産業建設常任委員会

## 付託議案

### ●議第62号 工事請負契約について(町道西大路鎌掛線道路改良工事(その10))

Q 工期が伸びたと聞いているが、今後の予定や問題点はどうか？道路の排水対策については？

A 来年度は問題なく発注できるが、青葉台区間では県外所有者も多く、買収の難航が予想される。浸透性の道路にすることは可能であるが、車の走りやすさは通常のものが多い。

### ●議第63号 工事請負契約について(大谷公園体育館屋根改修工事)

Q 体育館の屋根の材質、耐用年数、色、大雨のときの音対策などを伺う。

A ガルバリウム鋼板でメーカー保証は10年であるが、長く使っていきたい。色は公園のイメージに合うものにしたい。夏、熱くならない配慮もする。ポリエチレンを間に挟むことで防音対策をする。

Q 国スポのための改修でもあろうが、体育館前の道路に大雨で水が溜まるが対策は？

A 道路にアップダウンがあり、排水路に落ち葉が溜まりやすい。適正な維持管理に努める。

## 付託議案の採決

反対討論はなく一括採決 → 全委員一致で全議案を可決すべきものと決しました。



## 調査・研究

インボイス制度について（配付資料に基づき税務課長より税の仕組みなど説明を受けて、自由討議）。制度は国税であるが、1,000万円以下の小規模事業者や店舗にとっては極めて影響が大きい。さまざまな問題点があることから国に延期・見直しを求める旨の意見書を提出してはどうかとの発言があり、異議なく、委員長提案として案文を作成することになりました。

町内の道路整備の現状と今後について（配付資料により建設計画課より説明を受け、自由討議）。

名神名阪連絡道路法線やインターの問題、国道307号安部居登坂車線、路面の凹凸・樹木の道路へのみ出し、西明寺安部居線2期工事具体化における307号との交差の問題など、活発に意見を交わしました。

# 厚生常任委員会

## 付託議案

### ●議第66号 日野町使用料条例の一部を改正する条例の制定について

Q ひだまり事業所が勤労福祉会館ホールに事務所移転する経緯は？

A 通所介護・デイサービス事業ができなくなったことを機に、社会福祉協議会と事務機能の効率化を図ることとなった。ホール利用団体には他施設の活用を案内する。

## 付託議案の採決

反対討論はなく採決 → 全委員一致で可決すべきものと決しました。



## 請願審査

### ●請願第1号 オストメイト(人工肛門・人工膀胱造設者)への日常生活用具給付補助の増額およびオストメイト対応トイレ設置推進等を求める請願書

Q 役場とわたむきホールにはオストメイト未設置とのことだが？

A 今までの外観工事の際には議論に出なかった。トイレ内部の幅や配管も踏まえ考えたい。

## 請願の採決

反対討論はなく採決 → 全委員一致で採択すべきものと決しました。



## 調査・研究

### ●新設「交通環境政策課環境政策担当」

### ●新設「福祉保健課地域共生推進担当」

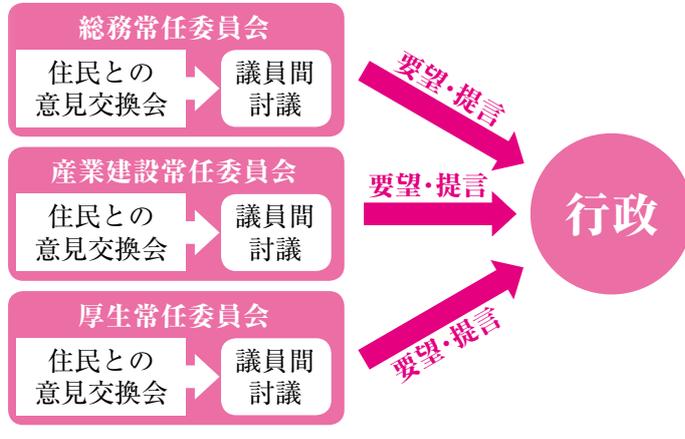
それぞれレクチャーを受けました。地域共生社会については調査研究を継続していきます。

# 議会改革特別委員会

～「前進する議会」～

## 重点取組 住民の意見を反映させる仕組み

委員会ごとに住民との意見交換会を開催予定(初の試み)



## 今後取り組む課題をピックアップ

- 議員間討議で民主的に前進!
- 通年議会で機動力アップ!
- 議員待遇25年間の課題に終止符!
- 議員・議会の先進地研修と地域還元!
- 図書館とタイアップして情報発信!



# 空家対策特別委員会

※用語としては「空家」と表記していますが、空き家バンクは固有名詞として「空き家」を使用しています。

## 町内空家の現状と課題

### 【現状】

- 特定空家物件数2件 (累計5件、内3件解体)
- 特定空家所有者への空家等の適切な管理に関する指導書の送付
- 近隣住民等からの相談をもとに所有者への適切な管理を促す通知文の送付 など

### 【課題】

- 指導書、通知文を送付した相手方の不履行に対する対応
- 特定空家の認定と、その後の対応
- 危険な空家所有者の管理責任意識の低さ、解体資金面も含め支援策の検討 など



## 空き家バンクの現状と課題

### 【現状】

- 登録物件数…空家7件、空地22件、利用希望登録者96件
- 空き家バンクに関する相談窓口設置

### 【課題】

- 登録物件数の少なさ、新規物件を増やすための制度の周知方法、所有者への働きかけ
- 仏壇、家財道具が放置されていることによる登録への弊害 など

## 移住・定住施策の観点から

- 外国人を含む移住者を今以上に地域の一員として受け入れられる地域づくり
- 移住希望者が必要とする住まい、仕事、子育て環境、農業等の情報について、組織を横断的に、また、地域と連携した情報発信の体制づくり

# 令和5年6月 町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容	ページ
1 野矢 貴之	1 総務政策主監人事によって期待する効果は？ 2 投票率の低下から考える住民参画のあり方とは？	P. 8
2 高橋 源三郎	1 大谷公園の果たす役割について 2 結婚新生活支援事業補助金について	P. 9
3 西澤 正治	1 しゃくなげ溪の整備と保全について	P.19
4 川東 昭男	1 空き家バンクの問題と対策について	P.10
5 谷口 智哉	1 日野菜振興の現状と今後の目標は？ 2 企業誘致に関する動きと結果は？	P.11
6 福永 晃仁	1 社会教育・青年教育の中長期ビジョンは 2 都市公園(松尾公園)のプランニングは	P.12
7 柚木 記久雄	1 近江鉄道日野駅について 2 生涯学習(スポーツ)の推進について	P.13
8 松田 洋子	① 2歳までの子育て支援について ② 保育所などの人材確保について ③ 遠距離通学の送迎バスの拡充と通学路の安全確保について	P.14
9 山本 秀喜	1 令和5年度の町の政策、財政運営と今後について ② 町の空き家対策、住める状態のうちにいかに有効活用を進めていくのが大切では？ ③ 「健康と有機農業のまちづくり」を目指して	P.15
10 中西 佳子	1 子育て環境の整備について 2 定住・移住促進への政策について	P.16
11 加藤 和幸	1 国保税引き上げの経緯と引き下げに向けた今後のあり方 2 わたむき自動車プロジェクト(その5)町民や有識者の衆知を集め、総括と見直しを	P.17
12 後藤 勇樹	① 今後の財源確保と行政経営を問う 2 役場組織の改編・業務移管等と庁内サービス等について ③ 持続可能な農林業に向けた政策は	P.18

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議の様様をインターネットで配信しています。  
(ライブ中継・録画中継)



上のQRコードを読み取ると  
一般質問の録画が視聴できます。



# 問 総務政策主監人事によって期待する効果は？

答 業務改善や関係機関との連携調整に期待している



野矢 貴之 議員



問 日野町では、令和5年3月まで副町長が元滋賀県庁職員だった。そして今年度、令和5年4月より総務政策主監に元滋賀県庁職員の方が着任された。社会の変化が早い昨今、町役場だからこそ、外部人材の活用によって多方面への影響を期待している。

答 (町長) 河野総務政策主監に特に期待する事は、県庁で経験されてきた知識と幅広い視点を活かし、町政全般の総括、新たな視点やアイデアによる業務改善、町の主要プロジェクトの推進である。また県や国の様々な機関との連携調整にも期待している。

## 適材適所



▲好きと得意を活かした人事＝適材適所

今回の総務政策主監人事によって期待する効果について質問します。また、総務政策主監が取り組みたいこととは？

(主監) 役場の管理業務、人材育成に力を入れ、しっかりとした組織づくりを行い、役場職員力の向上に努めたい。

問 投票率の低下から考える住民参画のあり方とは？

答 学校や社会教育の中で政治に参画する方策が必要

問 今年4月の日野町議会議員選挙では、前回(4年前)の日野町議会議員選挙よりも投票率が低下した。65.39%↓59.81%↓55.90%。これらが与える影響や原因と対策について、共有することは大切なことだと考える。

投票率の低下から考える住民参画のあり方について質問します。

世界有数の幸福度の高いデンマークでは、50年連続投票率が85%ほどであることを考慮すると、「今困っていない」「争点がない」「時代の変化」は問題の本質ではない。

社会参加や民主的解決など主権者教育や、幸福度に注目すべきでは？

## どうやって解決する？



▲デンマークの授業では、対話を通じて意思決定をすることを訓練し、実社会への意見の反映につながっている

答 (総務課長) 投票率が上がらない要因として政治や選挙に行くことの意義を学ぶ機会が少ない。投票率は住民参画の数値として考えられる。社会の問題を自分の問題としてとらえる主権者を育成していく必要があると考える。

(選挙管理委員長) 投票率への影響は広範

困にわたる。学校だけでなく社会教育の中で政治に参画する方策を考える必要がある。

(町長)

当町でも「共創」を掲げている。みなで一緒に話し合っって問題解決していきたい。幸福度は重要なテーマだと思う。

# 大谷公園の果たす役割について

**答** スポーツ振興や指定避難所として重要な拠点であり、通信機器の確保と整備が必要



高橋 源三郎 議員



## 問

大谷公園は町民のスポーツ振興に大きな役割を果たしており、同時に災害等が発生した場合の「指定避難所」にもなっている公園です。

さて、2025年(令和7年)は滋賀県を会場として、第79回国民スポーツ大会(現・国民体育大会)が開催されます。この大会で日野町は正式競技として「軟式野球」の会場となるということです。このことは町民の皆さんにはまだ十分に周知されていませんが、当町では既に令和2年度から「国民スポーツ大会準備室」を教育委員会内に設置し、軟式野球の受け入れ準備が進められています。しかしこれもまた町民には今のところ何も見えていないのが実情です。

## 答

またこれは、災害時の指定避難所でもありますが、実際の災害時には多くの町民が避難することになります。この時、本庁と情報交換ができる通信機器が整備されているのかお尋ねします。

## 答

大谷公園は昭和54年にオープンし約45年が経過している。老朽化が進んでいるため「日野町公園施設長寿命化計画」に基づき、国の交付金を活用しながら、野球場や体育館屋根の改修工事を進める。なお、野球場は国民スポーツ大会の軟式野球の競技会場となることから、施設基準を満たすよう昨年度改修工事を行った。

また災害時の指定避難所として開設する場合、本庁との通信手段については確保が必要であり、町内27箇所ある指定避難所全体を見ながら今後検討していく。

## 問

結婚新生活支援事業補助金については引き続き研究する

## 問

滋賀県の各自治体では、日野・竜王・愛荘の3町を除く16市町において「結婚新生活支援事業」として補助金の交付が行われています。

このことは5月16日付け発行の『滋賀プラス1(No.203)』に掲載されてきました。県の担当課へ照会したところ、この補助金は3分の2が国の財源で、残り3分の1が市町の財源となっているとのことでした。この補助金制度は平成28年度から始まっており、現在県下16市町では実施されていますが、日野町はこの制度は実施していません。少子化対策が国も市町も喫緊の課題となっていて、今、当町も「出生数」を増やすためにも、ぜひ新婚夫婦に対して、特に所得の低い新婚夫婦にこの事業を実施していただ

けないか伺います。

『滋賀プラス1』より「結婚新生活支援事業補助金」の概要

◆事業主体…市町

◆対象世帯…

世帯所得500万円

未満で夫婦ともに婚姻日における年齢が

39歳以下の新規に結婚した世帯

◆対象経費…

住宅取得費用

リフォーム費用

住宅賃借費用

引越費用

◆1世帯あたりの上限額…

(1) 夫婦ともに婚姻日

における年齢が29

歳以下の世帯…

60万円

(2) (1)以外の世帯…

30万円

※対象世帯、対象経費、

上限額は実施自治体

により異なるので注

意。

## 答



この事業についてはこれまでから検討を重ねてきた。しかし、その効果や他市町の状況から制度化を見送ってきた。それよりも安心して子育てができる環境づくりがより大切とされている。令和5年度の事業として高校生等の入院時の医療費無償化や、卒業後に町内に居住し就職した人への奨学金返還支援などに取り組んでいる。今後も国の動きを注視しつつ、日野町で結婚・妊娠・出産・子育てを安心してできるまちづくりを進め、少子化対策に繋げていきたい。



# 問 空き家バンクの問題と対策について

答 解決に向けて最大限取り組み、信頼される町政運営に努める



川東 昭男 議員

## 問

私の住む豊田4区では、この制度で「自らが住む」と言って購入された方が、外国人に「あっせん」されている実態が3件あります。外国人が問題と言っている訳ではありません。

この3件の契約は、僅か半年間の出来事です。地域ではこの急激な環境の変化に対応できず困っています。

入居者との連絡が取れないこと、「ミミの問題、協賛費や区行事への参加問題などです。不動産業に関係する方が、本制度を悪用し、3件全てが「賃貸」されているのです。制度と実態が大きく異なるこの事業における町当局の対応について伺います。

- ①「利用登録」について、問題はなかったのか。
- ②町は、同じ購入者が関係していることに、問題意識はなかったのか。
- ③「賃貸」について、要綱上問題意識はなかったのか。

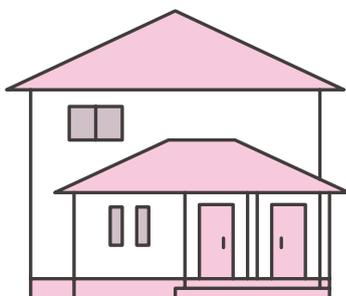
か。又、入居者全てが外国人について、どのように思われたか。

④町と地域の信頼について、どのようにお考えか。

2.要綱改正について

①昨年8月1日に要綱を改正されました。改正の要因と内容は、地域の現状と必佐地区区長会の行政懇談会を受けてのことか。

②要綱9条関係が大きく改正されています。これは二度と「豊田4区」の舞は踏まないぞという決意と受け止め、評価したいと思いますが、改正された内容をなぜ、地域に知らせてくれなかったのか。



3.地域としても、スムーズな区運営に努力したいと思っています。

入居者全てが外国人ということから、地域で混乱が生じていますが、「多文化共生」の地域づくりについて、町として具体的な指導や地元と共有することを考えているのかお伺いします。

## 答

1.現状認識について

①要綱上は、問題なかったと認識している。

②購入者に再度確認しており制度上の要件は整っていた状況。

③意図的に賃貸された場合は問題である。外国人の移住については、国籍に関わらずコミュニケーションをとり、地域の活性化につなげてほしい。

④地元で苦慮いただいております。大変申し訳ない。

2.要綱改正について

①豊田4区の事案を受け、問題を真摯に受け止め、

## 空き家の契約までの流れ

《利用希望者用》



### 直接型

↓ 利用希望者の方と物件の所有者の方が直接、交渉、契約をします。

### 間接型

↓ 町が協定を結んでいる宅建業者と利用希望者が、交渉・契約をします。成約時には仲介手数料が発生します。

## 要望

この事業を推進していく上で、登録の受付から問題発覚時の指導を怠った事がその後の問題に発展していったと言わざるを得ません。このような拙速な進め方を深く反省し、担当課職員が一丸となって事業の推進を図りたい。また、豊田4区の実情を充分把握し、役員と協議を進め、多文化共生の地域づくりを地域と共に具体的に行動してください。

### 問 日野菜振興の現状と今後の目標は？

答 「近江日野産日野菜」のブランド化や「ふるさと納税」でのPR



谷口 智哉 議員



#### 問

3年前の日野町長選挙の際、任意

団体「投票率向上委員会」としてSNS等で質問を募集し、公開質問しました。当時の候補者である堀江町長にも回答いただき、今回の一般質問ではその時頂いた「回答」に対するその後について伺います。

日野菜振興に関する質問に対しては、3年前は「産業」としての振興が必要で、そのためには買取金額を上げなければならぬので、日野産日野菜のブランド化と、ふるさと納税制度を活用したり、官民連携の地域商社を設立して新規需要の創出に取り組む必要があります。」と回答いただきましたが、現状と今後の予定について伺います。

#### 答

日野菜のブランド化については令和4年10月「近江日野産日野菜」がGI(地理的表示保護制度)に登録され

ました。日野町以外で栽培される日野菜との差別化も出来たことから、今後近江日野産日野菜というブランドネームを効果的にアピールし、農家所得や生産面積の拡大につなげていきたいと考えています。

新規需要の創出については、令和2年11月からふるさと納税専用のポータルサイトを立ち上げ、日野菜漬を含む町の特産品や工業製品等の振興を図っており、今後も日野菜振興の一環としてふるさと納税制度も有効に活用して参りたいと考えています。



日野町ホームページ「ふるさと納税」

#### 問

企業誘致に關しての動きと結果は？

答 数件の操業実績があり、

トップセールスで訪問したことによる操業予定もある

#### 問

企業誘致について「工場に限らず企業誘致をどのように考えておられますか」と

の質問に対して、「首長自らトップセールスで営業をかけることが非常に効果的であると考え、既存の工業団地空き区画と今後造成予定の区画を含め、興味を持つ企業に対して常にアンテナを張り、必要であれば首長自ら本社に訪問し、営業活動を行うなど積極的な企業誘致を行っていきたくと考えています。」と回答いただきましたが、この3年間の企業誘致に關しての動きと結果、今後の予定はどのようになっていましてでしょうか。

また、企業が日野町で操業するメリットはありますかでしょうか？



▶豊通ベクトリサイクルシステムズ株式会社(鳥居平)

#### 答

近年の企業進出の状況については

寺尻工業団地に新規で工場立地、第2工業団地内で既存立地企業の第2工場の新設、鳥居平地先において新規の工場立地がありました。また令和5年4月には町外の企業が別所地先の空き工場で操業を開始されるなど、町内への立地が年々進んで

いるところですが、この他にも私がトップセールスで訪問し今後創業予定の企業もあるところです。現在は空いている工業用地が少ないところですが、鳥居平・松尾地先で民間事業者による工業団地の造成が計画されており、情報発信・情報収集は実施し、今後も新たな工業団地の進捗に合わせ、関心を持つている企業への訪問など自らが営業活動も検討していきたいと考えています。

日野町は中部東海圏と京阪神の大都市圏を結ぶ東西交通の要所に位置し、八日市IC、蒲生スマートIC、甲賀土山ICにアクセスしやすく、工場新設に対しては雇用促進奨励金や工場設置促進奨励金等、町独自の施策があります。

# 問 社会教育・青年教育の中長期ビジョンは

答 時代に対応した新たなアプローチを共創していきます



福永 晃仁 議員



**問** 公民館単位での自治活動、青年団や女性会を始めとする社会教育団体の歴史と実績。行政内での社会教育方針に対する理解度や実践・経験を踏まえた総合力で当町の社会教育に対する本質的なレベルは非常に高いと認識しています。地域移行が進む10年先を見据えた人材育成と人的資源の確保、財政状況を踏まえた費用対効果と合理性、新時代対応型施策が必要と考える中で

①この国の社会教育が置かれている現状への当町の捉え方。  
②当町における社会教育関係団体の現状と支援状況。  
③社会教育・青年教育の中期的なビジョン。

**答**

当町では地区公民館が拠点となり地域に根差した社会教育活動が現在も行われ、民主化が進み生活は豊かになり教育や学習環境も充

実してきました。そのうえで

①少子高齢化や人口減少、核家族化や人間関係の希薄化、自治会維持の課題など地域が抱える課題解決に社会教育は重要な役割だと考えます。

②青年団・女性会・文化協会・スポーツ協会など様々な社会教育団体に補助金・支援、公的施設の活動場所提供などを行っています。

③時代背景やライフスタイルの変化に柔軟に対応できる新たな切り口の社会教育活動を、住民の皆様とともに共創していく必要があります。人材発掘や育成に力を入れながら、ふるさと日野学習やコミュニティスクールの取り組み、学校教育と連動させて社会教育を推進していきます。



▲綿向山青年の塔100年プロジェクトの様子

## 問 都市公園（松尾公園）のプランニングは

答 住民ニーズを再度検証し現状に即した改善を行います

**問**

子育て世代にとって居心地が良く住みやすいと感じるまちづくりは重要なテーマの一つです。財政基盤の状況や限られた投資的経費の枠組みの中で行われてきた都市環境整備、都市公園の維持などについて

一定の成果は表れています。しかしながら当町の強みである豊かな自然・歴史文化を活かしながら、歴史文化を活かしていき、歴史文化を指摘する声も聞こえます。松尾公園についてのアンケートを実施。町内の子育て世代にご協力いただき多くのご意見を聞くことができました。

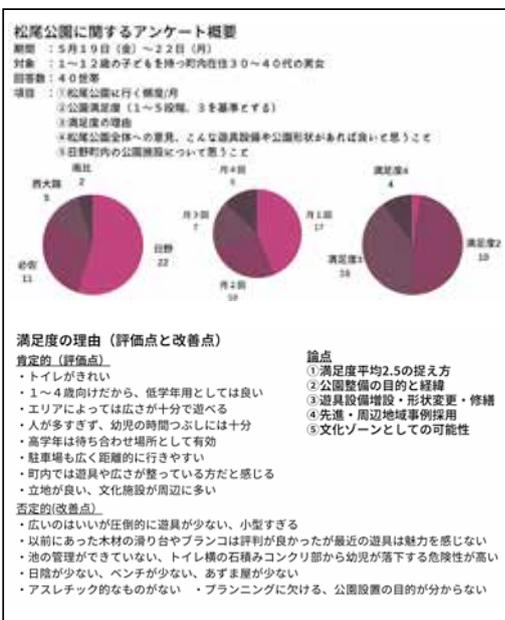
①アンケート内公園満足度2.5(基準値3)に対する捉え方。  
②公園整備の目的と経緯・遊具設備増設・形状変更・修繕等の予定。

**答**

①子育て世代をはじめとする利用者が年々増加しておりアンケート結果からまだまだ改善の余地があると感じます。特に大型遊具やアスレチック設備など小学生高学年までを対象とした施設がないことは課題と考えます。景観などの部分では池周辺を取り巻く環境の再整備などがこれからのポイントとなります。

②平成7年に日野中部土

地区区画整備の中で近隣公園として周辺住民の憩いの場となることを目的とし、公共施設の近接地で供用を開始。平成30年には子育て支援、健康づくりを目的に、芝生広場の拡充、児童遊具・あずまや・ウォーキングゾーン及び駐車場の新設。昨年度は長寿命計画で街灯のLED化工事などを実施。今後の修繕は必要に応じて実施していきます。



# 問 近江鉄道日野駅について

答 駅の周辺設備、送迎車については現状施設で対応する



柚木 記久雄 議員



**問** 私は長年日野駅を利用してきたことから、駅駐車場、駅前広場、朝夕の送迎車他について質しました。

- 1. 駐車場関係について
- ① 平日の利用率。② 満車になることはあるか。③ その時の利用者の様子は把握しているか。④ 駅でのイベント開催日の対応
- ⑤ 今後利用が増えてきた場合は拡張するのか。
- 2. 駐輪場との通路
- ① 管理者は役場か。② 雨の日の排水について対策は。
- 3. 駅前広場について
- ① 送迎用の駐車枠が3台分しかないが混雑しバスの運行にも支障がある。
- ② 駅のバス停に雨よけ、日差し除けの庇が必要ではないか。③ 混雑の対策にバス転換場の奥のスペースが使えないか。
- 4. 駅前の道路について
- ① 県道日野徳原線は駅前道路がカーブし見通しが悪く、将来に向け駅前整備を検討すべき時期で

あるが当局の見解は。

**答** 1. ① ② 駐車場の利用率は9割と認識。

- ③ 満車時の利用者の対応は把握していない。④ イベントは主に土日開催で通勤者との共用は近隣の方に臨時駐車場の協力もいただき対応できている。
- ⑤ 今後利用が増えた場合は地元関係者と協議を進める。
- 2. ① 駐輪場との通路は町が借用し管理している。
- ② 雨の排水については側溝の土砂を取り除き対応した。
- 3. ① 駅前広場の混雑は誘導看板や路面標示で対応している。② 駅舎の庇を伸ばすことはタクシー乗降や構造上の問題で困難である。待ち合わせは「ないろ」を活用してほしい。③ 送迎の一時待機に奥の未舗装部分は利用できる。
- 4. ① 現在のところ駅前整備構想はない。

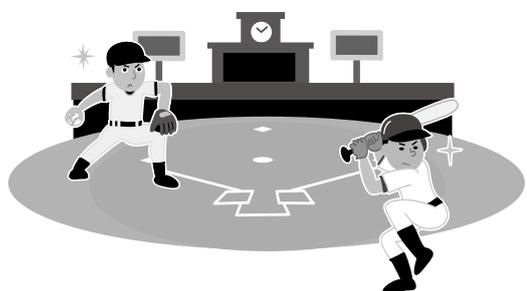
# 問 生涯学習(スポーツ)の推進について

答 国スポ・障スポに向け機運を醸成する

**問** 滋賀を再来年に控え生涯スポーツ全般の推進について質します。

- 1. 町のスポーツ協会で行われている「みんなのスポーツ広場」「ガチャコンウォーク」「健康登山」の評価と今後の方向性は。
- 2. また、各公民館で行われているニュースポーツや野球はじめスポーツ大会については選手やスタッフの人集めや、マンネリ脱却に苦勞されていると考えるがこの評価はどうか。
- 3. 障がい者スポーツや健常者も一緒に楽しめる競技の取り組みはどうか。
- 4. 2025国スポ・障スポに向けて、日野町での開催競技の軟式野球と共

運の醸成を進めていくの秋の2回開催している。綿密な企画、当日のきめ細やかなサポートが、参加者アンケートでも高い評価を得ている。「健康登山」では健康づくりと基礎的な技術の習得を目的に年2回程度実施している。こちらも参加者の皆さんから非常に高い満足を得ている。



**答** 1. 「みんなのスポーツ広場」についてはスポーツ推進員さんを中心

- として、春と秋に6回程度実施しており、毎回100人程度の参加者があり満足度も高い。「ガチャコンウォーク」については、健康増進と介護予防、沿道の歴史文化にふれ近江鉄道の利用促進を図ることを目的に春と秋の2回開催している。
- 2. 各公民館の行事は実行委員さんのご協力のもと身近で親しみやすく、幅広い世代の参加がありスポーツ振興に欠かせないものである。
- 3. 障がい者スポーツにおいては研修会に参加したりポッチャの出前講座を実施している。
- 4. 国スポ・障スポを契機に身近にスポーツを感じてもらい健康増進、体力向上、フレイル予防の取り組みを通じて機運の醸成を図っていききたい。



## 問 2歳までの子育て支援について

**答** 独自に上乘せして助成を行うことは考えていないが、見守りや相談支援等を含めたおむつの配布は、研究する



松田 洋子 議員

### 問

①令和2年度に日野町で生まれた子どもの数は142人、令和3年度は122人、令和4年度に至っては117人と減少傾向になっていますが、日野町としてどのように受け止めていますか。また具体的な対策などについて聞かせてください。

②高齢者の方へのおむつ代に対する助成が行われていますが、新たな子育て支援として、2歳までの子どもへのおむつ代に対する助成を求めます。

### 答

①少子化問題は大きな課題ととらえている。第6次日野町総合計画に基づき、人口減少に歯止めをかけていきたい。日野町独自の子育て支援策として、小中高生への医療費助成や一時預かり事業、ファミリーサポート事業、養育支援訪問事業、つどいの広場の開設など、地域に開かれた多様な支援事業に取

り組んでいる。

これからも国、県に歩調を合わせ、「子育ての輪が広がり、子育てに夢と希望が持てる町」を目指して取り組んでいく。

②国の総合経済対策を受け令和4年4月以降に妊娠・出産された方を対象に妊娠された時点で5万円、出産されて子育てされる方に5万円支給している。さらなる援助として、おむつ代は考えていないが、見守りや相談支援を含めたおむつの配布については、他市町の実施方法や内容等を踏まえ研究する。



## 問 保育所などの人材確保について

**答** 奨学金の返還支援事業の実施で他の施策は調査・研究する

### 問

①令和5年度が始まって約3か月が過ぎようとしています

が、いま現在でも、日野町会計年度任用職員（保育士・保育教諭）がフルタイムで4人、パートタイムで4人募集されています。どのようにして人材を確保しようとしているのか、また人材確保に向けた長期計画などがあれば教えてください。

②日野町では今年度から奨学金を利用されている方への返済のための支援制度が始まっています。人材確保のために、日野町内の福祉職場で働く方への奨学金返済に対するさらなる支援制度の拡充を求めます。

### 答

①ホームページやハローワーク、組

回覧などを通じて募集要項を掲げ広く周知している。昨年度から町において採用説明会を開催し、就職を検討している学生に対し、同世代の若手保育士から園での保育の様子や仕事内容を聞き、相談できる場を設けた。たくさんの方の学生に参加してもらえたので人材確保につながればと期待している。人材確保の長期的な計画として、保育士の配置基準に基づき、計画的な採用に努めている。保育士の質向上では研修や園内研究に取り組み様々なニーズに対応できる保育士育成に取り組んでいる。



②今年度から若者定住促進や人材確保を目的に「日野町奨学金返還支援補助金」制度を設け、奨学金の返還支援事業が実施される。保育士はじめ、福祉・介護職員の人材確保については、喫緊の課題となっていることは承知している。人材確保をする上で何が日野町にとってベストか、近隣市町の取り組み状況を踏まえ考えたい。

問 町の空き家対策、住める状態のうちに  
いかに有効活用を進めていくのが大切では？

答 空き家バンクへ登録を増やすための支援策、具体的に決められていない



山本 秀喜 議員

空き家情報登録制度(空き家バンク)の仕組み



今、国では、空き家対策特別措置法を改定し、管理不全空き家の新設など、空家になる一歩手前で解決していこうとする取り組みが進められ、住める状態

問 少子高齢化や人の減少、現代社会の住居環境の変化により、必然的に空家、空地が増えてきています。私は、過去にもこの問題を取り上げ、個人の私有財産の問題とは言え、地域の安全や衛生、景観悪化などにもつながり、町の課題だと捉え、改善を求めてきました。

態のうちいかに有効活用を進めていくのか。既に空家の活用に動き始めている自治体も多く、町の動向を伺います。

答 空き家、空地の実態調査は、令和元年度以降できていないが、本年度から毎年空家全体の増減調査を、来年度には5年毎の建物評価を含めた調査を行います。

令和元年度に認定した特定空家(倒壊しそうな危険な空家)は5件、そのうち3件は自主解体が終わっています。残り2件、対応しているものの進んでいない状況です。

「空き家バンク」の登録は、令和4年度、新規物件で4件、成約件数は7件で低調なままです。登録を増やすためには、残された家財道具や仏壇の処理が支障となり、これまでに検討したものの、私有財産でもあり、具体的な支援策には至っていません。

「健康と有機農業のまちづくり」を目指して

問 「健康と有機農業のまちづくり」を目指して

答 学校給食で有機米のご飯を試験的に導入していく。これからは有機農業の果たす役割が大きくなる

問 「みどりの食料システム戦略」で、環境負荷の低減を目指し、「滋賀県みどりの食料システム基本計画」が策定され、日野町も連携して取り組むこととされています。

今までは、有機農業に関する、労力や費用がかかり、それに見合う効果が得られていないことから冷淡でした。しかしながら一方では、有機給食を取り入れられている学校や、有機農業を推進されている市町が増えてきているのも事実です。

日野町においても、有機農業生産者とJ A、県により「J Aグリーン近江オーガニック研究会」が設立され、また今年秋には、試験的に子どもたちの学校給食に有機米が提供される予定です。

自然豊かでちょうど良い田舎の町で「健康と有機農業のまちづくり」を目指したいと考え、町の見解を伺いました。

答 「滋賀県みどりの食料システム基本計画」に沿った、有機食

材の生産・販売に対する町の関わりは、今年度、町内の複数箇所です。『きらみずき』の実証田を設け、水

田内除草機や施肥体系の検証等が行われることから、県・J A・町による支援を予定しています。

学校給食で有機米の試験的導入は、今年10月から必佐小学校で、1年間の予定で毎月第2週のご飯を有機米で提供する予定で進めています。

「健康と有機農業のまちづくり」については、消費者ニーズの高まりや環境に配慮した生産活動が求められていることから、これからは有機農業の果たす役割が大きくなります。しかしながら、有機農業は、従来の農業と比較して収量が少なく、安定させるのが難しい点があり、食料の安定確保という側面から、有機農業と従来の農業を両立させていくことが大事だと考えています。

目標項目	現状 (R2)	目標値 (R8)
水稻新品種「きらみずき」作付面積	-	1,000ha
化学肥料出荷量の削減率(2016肥料年度比)	-	10%削減
化学合成農薬出荷量の削減率(2019農業年度比)	-	5%削減
家畜ふん堆肥の耕種農家の年間施用面積	8,000ha	8,600ha
長期中干し実施面積	11,014ha	12,000ha
オーガニック農業(有機農業)取組面積	355ha (R3)	500ha

「環境負荷低減事業活動の促進」による環境負荷の低減に関する目標より抜粋(滋賀県みどりの食料システム基本計画より)



# 子育て環境の整備について

答 子育てサポートの輪を広げていけるよう取り組む



中西 佳子 議員



**問** 日野町においても、すべての妊婦さんや子育て家庭が安心して出産、子育てできる環境づくりのため、伴走型相談支援や子育て広場、また子育てのサポート事業がある。今後も子育てしやすい環境づくりが進むようお願い。① 出産応援ギフト、子育て応援ギフト事業の進捗状況と課題は。② デジタル化が進む中、母子健康手帳の電子化への町の見解は。③ 子育てサポートについて、子育て応援訪問事業の活用状況は。

**答** ① 令和5年2月から事業を開始し、保健師や助産師が面談し、妊娠初期から顔の見える関係の構築に努めている。経済的支援について、5月末現在で、出産応援ギフトは186人、子育て応援ギフトは100人分の支給をさせていただいた。課題としては、子育て支援の担い手を育成していくことも必要。多言語への対応も課題である。② 国の「母子健康手帳・母子保健情報等に関する検討会」において母子保健情報・母子健康手帳の電子化について整理が行われた。今後、民間のアプリについては、マイナンバーとの連携がさらに進展すると想定される。国の動向に注視し電子化の研究をしていきたい。③ 令和4年度はのべ14回の訪問相談を実施し、産後の不安・離乳食・育児相談などがある。

## 問 定住・移住促進への政策について

答 若者の定住には就労支援と住み続ける環境整備が大切

**問** 日野町には、若者の定住増加やU・Jターンによる移住増加の政策が重要と考え何点か伺う。① 若者の定住促進への取り組みは。② U・Jターンなどの移住増加の取り組みは。③ 町では、定住・移住促進を目的としてコスモスラーラ西大路の宅地整備事業が行われました。現状と効果はどうか。④ 「結婚新生活支援事業補助金」は、結婚に伴う経済的支援で、県下16市町で実施されている。町でも実施へのお考えは。また、町独自で支援されているものがあれば伺う。

が、若者の定住促進にもつながると考えており、一環として「ひの若者会議(仮)」の取り組みを進めている。



▶ コスモスラーラ西大路の街並み

**答** ① 若い世代の意見が反映され、現場で社会課題等の物事が解決できるまちであること

② 移住希望者へ地域特性や行事、自治会活動の紹介等まちの魅力を伝えるとともに、移住・定住に必要な情報である子育て情報、求人情報等を活用し、相談に応じている。移住定住情報サイト「ひの暮らし」により移住者の紹介やまちの魅力を伝えていく。また滋賀移住・交流促進協議会と連携したオンライン移住セミナーの開催などおこなっている。③ 令和3年10月から分譲を開始し、24区画中、残り1区画も申し込みがあり、完売の目途がたった。購入者の半数以上が町外の方であることから一定移住・定住促進の目的は果たせたと考える。

④ これまで検討を重ねてきたが、その効果や他市町の状況から制度化を見送ってきた。結婚へ踏み出すきっかけにはなると思うが、その後のサポートや安心して子育てできる環境づくりが大切。そのことから、令和5年度の事業で、高校生等の入院時の医療費無償化や卒業後に町内に居住し就職した方への奨学金返済支援等に取り組んでいる。

問 国保税引き上げの経緯と  
引き下げに向けた今後のあり方

答 知事や町村会を通じて財政支援を要望したい



加藤 和幸 議員

問

3月議会で共産党は税率引き上げに反対したが可決され、その後全世帯に引き上げ改正の通知文書が配布された。

保険料水準の全県統一が近づく中、住民の暮らし・福祉充実のために、国保はどうあるべきか、という基本に立ち返り、以下の通り伺う。

- ① 国保税率の大幅引き上げに至った要因は何か。
- ② 令和3年度の日野町の国保税額は全県で2番目に低い、それを可能にした要因は何か。
- ③ 保険者努力支援制度は統一化にあたってどう生かされるのか。
- ④ 未就学児にかかる均等割軽減、低所得世帯の軽減措置はどうなるか。措置の適用を受けている世帯数はいくらか。
- ⑤ 日野町の国保税は今後どのような推移を想定しているか。国に対しての公費投入要求や基金の取り崩しは不可避と思われるが、見解を伺う。

答

① 被保険者の年齢構成が高く、一人あたり給付費の増加。後期高齢者支援金の増加。国保財政安定化基金活用の減少。激変緩和措置の縮小。

② 激変緩和措置による。

③ 後発医薬品使用割合や税の収納率など、高い評価。インセンティブ分は納付金の財源に活用。

④ 均等割半額は80世帯110人。低所得者2割軽減347世帯、5割軽減414世帯、7割軽減588世帯。

⑤ 一定の基金を活用。知事や町村会を通じて財政支援の方策を要望。

令和5年度保険税率の見直し  
(住民課資料による)

	所得割	資産割	均等割	平等割
	加入者の所得に対して	固定資産に対して	加入者一人あたり	1世帯あたり
医療保険分	旧 6.00%	5.25%	20,300円	18,900円
	新 6.40%	0%	21,000円	20,000円
後期高齢者支援金分	旧 2.50%	2.60%	8,500円	8,100円
	新 2.90%	0%	10,000円	9,500円
介護給付金分	旧 1.35%	3.55%	9,000円	5,100円
	新 2.15%	0%	10,500円	6,500円

問

わたむぎ自動車プロジェクト(その5)  
町民や有識者の衆知を集め、総括と見通しを

答 今後の進め方は関係機関や事業所と検討

「チョイソコ」の要望や問い合わせは交通環境政策課へ

問

「わたむぎ自動車プロジェクト」

の全体像や方向性は、依然として混乱している。

1. 実証実験バスが利用されない、マイカーが減らない、渋滞が解消されない、CO<sub>2</sub>の削減が進まない等々の実態を町民や有識者に明らかにし、衆知を集めることが必要な段階と考えるが、どうか。

③ 料金は相乗りでも同じ、と考えてよいか。往復の場合、待っていてもらえないのか。

④ 土日祝時間外の利用希望は出ているか。

答

1. 実証実験の結果はマイカー利用の優位性があり、関係機関・事業所様とともに検討していきたい。

2. 地域公共交通会議で課題等の整理を進めている。

3. ① 1便あたりの相乗り割合は、1・24人。知り合いか否かのデータはない。

② 予定時刻の前後5分以内に収まる場合に相乗り。

③ 料金は個別。利用者の依頼で待つことはできない。

④ 説明会等で伺っている。



# 問 今後の財源確保と行政経営を問う

答 あらゆる取り組みを総合的に推進し財源確保を図りたい



後藤 勇樹 議員



## 問

堀江町政となつてふるさと納税に着手し3年になります。昨年は約3千万円の寄付実績でしたが、近江八幡市は年に50億円近い実績があり、その使途も文化財保全や医療福祉の充実、産業振興などに各数億円規模となっています。町の取り組みと何が違うのでしょうか。

## 答

(商工観光課、建設計画課、企画振興課、町長)

ふるさと納税については年々伸びているが、本年度は8月頃に新たにポータルサイトを増やす予定で、首都圏をターゲットに需要増を目指す。企業版ふるさと納税も認知が進み、また令和2年度より法人税関連の控除割合も増えたことで、今後伸びが期待できる。工業団地周辺道路の整備についても以前に議員から提案を受けた国道307号のバイパス案を県に要望しているところ。実現すれば物流の円滑化により企業利益が上がり、法人税増収も期待でき、交通事故防止にも寄与する。SIBについては、現在東近江市で取り組み中の事業者と新たな取り組みを模索中である。提案されたトレーラーハウスは防災の観点からも意

また町内事業者支援や工業団地周辺環境整備による法人税増収に向けた政策は立てていますか。東近江市ではソーシャルインパクトボンド(SIB)により民間組織を活用した資金調達などで、社会的課題を解決する手法が効果を上げています。当町もSIBを活用してグリム冒険の森やブルーメの丘に宿泊用トレーラーハウスを設置して収益を上げ、かつ、事業者と災害協定を結び、いざという時はハウスをトレーラーで運び、仮設住宅として活用するなどの取り

組みはできないでしょうか。

組みはできないでしょうか。

## 問 持続可能な農林業に向けた政策は

答 農業に魅力を感じていただける状況作りが重要

## 問

高齢化や少子化等による農林業の担い手不足が叫ばれて久しいが、12月議会、3月議会で提案した、家庭菜園に親しんでいる人を将来の農業従事者に育てていくための計画作りには

着手してもらっているでしょうか。また集積・集約化した大規模な農家への補助だけでなく、小規模農家への支援は充実しているでしょうか。急傾斜地等の耕作困難農地に太陽光パネルを設置したビニールハウスを建て、シイタケ等の通年栽培を行い、成果を上げている例もあります。管理労力やコストも少なく、間伐雑木を原木利用することで森林環境譲与税の対象にもなり得ると思いますが、当町でも取り組んでみてはいかがでしょうか。また道の駅や農産物直売所の町内設置は計画されているでしょうか。

学ぶ農業体験ツアーも予定している。また小規模農業者に向けた補助は充実していない。現状を見ながら検討する必要性も感じている。耕作放棄地や耕作困難地を活用したキノコのビニールハウス栽培は魅力を感じる。森林環境譲与税の活用と合わせて検討したい。道の駅や直売所等は、当町に合った形態も含め検討を続けたい。

義がある。今後あらゆる取り組みを総合的に推進し、しっかりと財源確保が図れるよう努めていく。



▶牽引して仮設住宅になるトレーラーハウス

## 答

(農林課、建設計画課)

まず農業に魅力を感じていただける状況作りが重要。今年度はプロから



▶休耕田利用のシイタケハウス。森林環境譲与税の利用も期待できる

問 しゃくなげ溪の整備と保全について

答 来年の開花の頃までには整備に努力する



西澤 正治 議員



問

コロナ感染も収まりつつある中で今年の春の観光シーズンには、日野町にも多くの観光客が訪れました。滋賀農業公園ブルーメの丘は特に賑わった様です。

鎌掛の天然記念物、ほんしゃくなげ群落地の石楠花谷、ダリア園、藤の寺はコロナ前と変わらない賑わいでした。

今年の花のつきは良くて例年に見事な景観でしたが、5月の連休の頃には終わっていました。

しかし、コロナ感染で3年間、石楠花の手入れも手薄になり、耶斧岨(やぶそ)川の遊歩道に架かる丸太橋や、展望台に登る道と橋が長年の劣化により危険な状態にあります。早急に補修、整備を行って頂きたい町の対応を伺います。

答

鎌掛のホンシャクナゲは比較的低位に、しかも群生して咲

いている希少さから、昭和6年に国の天然記念物に指定されており、町の貴重な観光資源となっています。本年も県内外から、多くの観光客の方々にお楽しみいただきました。

遊歩道や展望台に行く道中や橋については、設置から相当の年数が経っており、その都度補修を行ってきたものの老朽化は進んでいます。

先日、日野観光協会からも修繕に対する要望が町にありました。

群生する土地の所有者である綿向生産森林組合はじめ関係する機関と連携しながら、来年のシャクナゲ開花の頃には安心して散策していただけるよう努力してまいります。



ことばのまめ知識

～議会だよりの中に出てくる難しい言葉や専門用語の解説～

**森林環境税** (P-4) … 令和6(2024)年度から施行され、個人住民税均等割の枠組みを用いて国税として1人年額1,000円を市町村が賦課徴収するもの。

**森林環境譲与税** (P-18) … 令和元(2019)年度から施行されており、国から県や市町に配分される税のこと。

**特定空家** (P-6、P-15) … 放置された空き家のうち、倒壊のおそれや不衛生、景観の損ない、治安の悪化などを引き起こすおそれのある空き家。

**共創** (P-8、P-12) … さまざまな立場の人たちが対話しながら、新しい価値を創造すること。

**多文化共生** (P-10) … 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

**S N S** (P-11) … ソーシャルネットワーキングサービスの略称で、インターネット上で簡単に投稿できたり、個人同士が繋がれたりするサービス。

**綿向山青年の塔100年プロジェクト** (P-12) … 綿向山(1,110m)の山頂にある「青年の塔」の下にタイムカプセルが埋め込まれて50年が経過した。再び50年後を目指してタイムカプセルを埋め込んだという100年間の事業のこと。

**フレイル予防** (P-13) … 人は年を取ると段々と体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要となり、心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイル(虚弱)と呼ぶ。そうならないように日頃から心掛けること。

## 第5回定例会（6月1日～26日）

町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
人事（17議案）														
日野町清田財産区管理会財産区管理委員の選任 油浦豊一氏、藤澤庄藏氏、村嶋晴一朗氏 清水秀久氏、藤澤義治氏	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町農業委員会委員の任命（15議案） 岸村達也氏、加納文弘氏、岡寄米夫氏、西河正樹氏 池田香氏、中嶋庄一氏、奥村初代氏、北村正行氏 坪倉清司氏、福井美智子氏、井上順子氏、北岡寅吉氏 大杉恵一氏、門谷幸夫氏、高岡忠司氏	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町副町長の選任 安田尚司氏	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
工事請負契約の締結（2議案）														
町道西大路鎌掛線道路改良工事（その10） ◎契約金額 1億1,913万円 ◎契約相手方 株式会社向茂組日野営業所 所長 野神 信孝	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
大谷公園体育館屋根改修工事 ◎契約金額 8,741万7千円 ◎契約相手方 株式会社フジサワ建設 代表取締役 藤澤 正幸	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
財産の取得（1議案）														
日野町立図書館書架等家具 ◎取得の金額 1,584万円 ◎取得の相手方 有限会社正野博文堂 代表取締役 三星 勝	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の一部改正（2議案）														
日野町税条例の一部を改正する条例 森林環境税の導入に伴い、納税通知に記載すべき納付額に森林環境税を追加し、個人の町民税および県民税に併せて国税である森林環境税を賦課・徴収する規定を設ける他	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町使用料条例の一部を改正する条例 日野町勤労福祉会館の施設の一部を廃止することに伴い、日野町勤労福祉会館使用料を改めるもの	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（1議案）														
一般会計（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

議員提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
請願の審査（1件）														
オストメイト（人工肛門・人工膀胱造設者）への日常生活用具給付補助の増額およびオストメイト対応トイレ設置推進等を求める請願書 ▽請願団体：日野町赤十字奉仕団 代表 西村保子氏 ▽紹介議員：中西佳子議員、後藤勇樹議員	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
決議（1件）														
国に対し、インボイス制度の延期・見直しを求める意見書決議 ▽提出者：加藤和幸産業建設常任委員長	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

# 提出された議案と結果

○賛成 ×反対

## 第4回臨時会（5月15日）

町長提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
専決処分（条例の一部改正）（2議案）														
日野町税条例の一部を改正する条例 軽自動車税の種別割にかかるグリーン化特例について、特例の期限を3年間延長する、また個人住民税・法人住民税・町たばこ税にかかる各種様式の新設に伴う改正の他	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 国民健康保険税にかかる後期高齢者支援金分の賦課限度額を2万円引き上げるほか、国民健康保険税の減額措置の拡充を図るため軽減判定所得の算定における加算額を引き上げるもの	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
人事（2議案）														
日野町監査委員の選任 川東昭男氏	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町固定資産評価員の選任 吉澤幸司氏	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
工事請負契約の締結（1議案）														
必佐学童保育所第3太陽の子増設工事 ◎契約金額 8,668万円 ◎契約相手方 株式会社野中工務店 代表取締役 野中 辰男	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（3議案）														
一般会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
水道事業会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
下水道事業会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

\*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

議員提出議案	結果	福永	谷口	松田	柚木	川東	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	中西	西澤	*杉浦
選挙（10件）・特別委員会の設置（3議案）														
常任委員・議会運営委員の選任	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
予算特別委員会・議会改革特別委員会・空家対策特別委員会の設置	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
予算特別委員会・議会改革特別委員会・空家対策特別委員会の委員の選任	選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
議長・副議長選挙 単記無記名投票による選挙 議長に杉浦和人議員、副議長に中西佳子議員														
一部事務組合の議会の議員の選挙 指名推選による選挙 東近江行政組合 杉浦和人議員、後藤勇樹議員 八日市布引ライフ組合 山本秀喜議員、松田洋子議員、福永晃仁議員 中部清掃組合 加藤和幸議員、高橋源三郎議員、山本秀喜議員、谷口智哉議員														

\*議会だより第23号臨時号に委員会の構成表を掲載しています。

# 議員のうごき

(令和5年4月1日～6月30日)

公務名		場所	期間	出席議員
蒲生郡町村議会議長会定期総会	構成員	日野町役場	4月6日	議長、副議長
町立小学校入学式	来賓	各町立小学校	4月10日	各小学校区議員
日野町国際親善協会理事会	構成員	林業センター	4月27日	総務常任委員長
春の全国交通安全運動街頭啓発	地域交流	町内	5月11日 ～20日	議員全員
日野町老人クラブ連合会総会	来賓	わたむきホール虹	5月22日	副議長、 厚生常任委員長
日野町商工会第63回通常総代会	来賓	商工会館	5月23日	副議長、 産業建設常任委員長
日野川改修期成同盟会定期総会	構成員	近江八幡市文化会館	5月26日	議長、 産業建設常任委員長
日野町国際親善協会総会・理事会	構成員	林業センター	5月27日	総務常任委員長
日野町議会議員と 商工会部会役員との懇談会	その他	林業センター	6月5日	議長、副議長、 川東、柚木、松田、 谷口、福永
滋賀県消防操法訓練大会練習開始式	来賓	日野消防署	6月12日	議長、副議長、 総務常任委員長、 必佐・南比都佐地区議員
南比都佐小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	6月22日	議長、副議長、 総務常任委員長、 福永、谷口、柚木
日野小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	6月27日	議長、副議長、 総務常任委員長、 福永、谷口、川東、高橋、 加藤、後藤、西澤
西大路小学校6年生議場見学	その他	日野町役場	6月30日	議長、副議長、 総務常任委員長、野矢

☆24ページで、議員公務の一部を写真入りで紹介しています。

## その他

通常公務として日野町議会定例会・臨時会

一部事務組合 東近江行政組合議会／八日市布引ライフ組合議会／中部清掃組合議会

議長公務 約20件 などがあります。

## 請願・陳情等の手引き

誰でも、町政などについて意見や要望などを請願・陳情として町議会へ提出することができます。

詳しい手引きについては、日野町ホームページまたはQRコードからご覧ください。

請願・陳情

サイト内検索



## 議会だよりアンケートのお願い

議会だよりへのご意見をQRコードから入力いただけるようになりました。皆様から頂いたご意見を反映し、わかりやすく・読まれる議会だよりにしていきますので、ご協力をお願いいたします。

※従来通り郵送やメールでもご意見を受け付けています。



## 議長 コラム



議長 杉浦 和人

### 課題解決に 向けて全員で

第18期議員にとって初の定例会には全員が一般質問に登壇し、特に新しい議員の活発な意見で活気ある議会となりました。また、全国的にも増加の一途を辿る空家問題は、我が町においても年々増えていることから、議会としても対策を急ぐべき課題であることを全員で確認し、特別委員会を設置し今定例会から本格的な議論を始めました。

ところで、今日まで議会で度々取り上げられてきました、いせの区画整理事業の調整池については、当時の土地区画整理組合の精算に際し、町は、現在も機能している調整池を埋立て町営住宅の建設を計画し、その取得に町営住宅建設整備基金が充てられました。しかし、最近の町当局の答弁は「町営住宅建設が見通せる状況にない」、つまり、計画はないと言ってきています。このような状況を整理するには、基金から繰り出している取得資金を一旦基金に戻すことが正当な会計処理と考えます。ここで問題となるのが戻す財源の調達です。議会として不透明なところは国土交通省の見解を聞く必要もあります。引き続き調査をして参ります。

## 議会 広報常任委員会

委員長	高橋源三郎
副委員長	松田 洋子
委員	福永 晃仁
委員	谷口 智哉
委員	柚木記久雄
委員	川東 昭男
委員	中西 佳子

## 編集後記

第18期議員による議会広報常任委員会が新たに7名決まり、『議会だより』の広報委員会が発足しました。

今日、本会議の様子はインターネットで同時中継されていますが、プリントされた紙ベースでの情報は、町民の皆さんがいつでも手に取って読むことができ、しかも目次を見れば関心のあるページへ飛んで読むことができます。そして行政と議会との間で今どのような町の課題が議論されているのか、これを町民の皆さんにお知らせするのがこの広報誌の役目と考えています。  
委員会の任期は2年ですが、町民に親しんでいただける記事づくりを目指しますので、どうかよろしくお願いします。  
(高橋源三郎)

## 9月定例会(本会議)のお知らせ【予定】

9月1日(開会・提案説明)  
13日(質疑) ・ 14日(一般質問)  
15日(一般質問) ・ 27日(採決・閉会)

# 議員公務の一部を 紹介するにゃん



蒲生氏郷公顕彰会公認キャラクター  
がもにゃん



## ① ピカピカの1年生

日野小学校72人・桜谷小学校15人・西大路小学校14人・南比都佐小学校15人・必佐小学校40人の子どもたちが4月から、小学校入学、新しいランリュック、ランドセルを背負って通学しています。希望いっぱい胸に抱いてまぶしいです。地元議員も来賓として出席しました。

## ② 交通安全を願って立ち番

第18期議員になって1番最初の仕事は、各地域での交通立ち番でした。「おはよう」と声を掛けると、元気に「おはよう」と応えてくれました。



## ③ 心を一つにしてガンバろう

6月12日(月) 日野消防署にて  
滋賀県消防操法訓練大会練習開始式に  
参加しました。



日野町議会広報

**日野町議会 議会だより**

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp



「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・メールまたは議会事務局までご持参願います。